

第108回 男女共同参画会議 女性に対する暴力に関する専門調査会
議事要旨

(開催要領)

- 1 日時 令和2年9月8日(火) 14:00～16:00
- 2 場所 中央合同庁舎第8号館8階特別大会議室
(Web会議システムを利用)
- 3 出席者
会長 小西 聖子 武蔵野大学人間科学部長
委員 阿部 裕子 特定非営利活動法人かながわ女のスペースみずら理事
同 井田 良 中央大学大学院法務研究科教授
同 浦 尚子 公益社団法人福岡犯罪被害者支援センター理事長
同 可児 康則 名古屋第一法律事務所弁護士
同 木幡 美子 (株)フジテレビジョン総務局CSR推進部部長
同 種部 恭子 医療法人社団藤聖会 女性クリニック We!TOYAMA 代表
同 中村 正 立命館大学大学院人間科学研究科教授／教養教育センター長
同 納米 恵美子 全国女性会館協議会代表理事
同 原 健一 認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス
支援コーディネーター
同 山田 昌弘 中央大学教授

(議事次第)

- 1 開会
- 2 議事
DV対策の今後の方向性について
- 3 閉会

(配布資料)

- 資料1 DV対策について検討を進めていく主な論点に対する意見
(阿部委員 御提供資料)
- 資料2 DV対策について検討を進めていく主な論点～保護命令制度の改善～
(可児委員 御提供資料)
- 資料3 加害者対策について～加害者の脱暴力プログラムの開発と制度化について
(中村委員 御提供資料)
- 資料4 DV対策についての意見
(納米委員 御提供資料)

資料5 DV被害者支援において今後の課題となるもの(例)

(原委員 御提供資料)

参考資料1 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(平成13年法律第31号)

参考資料2 専門調査会におけるDV対策に関するこれまでの主な意見

(議事概要)

- 今井大臣政務官から挨拶があった。
- 阿部裕子委員から「DV対策について検討を進めていく主な論点に対する意見」について、可児康則委員から「DV対策について検討を進めていく主な論点～保護命令制度の改善～」について、中村正委員から「加害者対策について～加害者の脱暴力プログラムの開発と制度化」について、納米恵美子委員から「DV対策についての意見」について、原健一委員から「DV被害支援において今後の課題となるもの(例)」について、それぞれ発表があり、質疑応答及び意見交換を行った。